

大阪のオアシス 信太山丘陵

里山的自然環境を
子どもたちに残そう



惣ヶ池湿地

特定非営利活動法人
信太の森FANクラブ

市街地に囲まれながら生物多様性に富む里山的自然環境を残している信太山丘陵は環境省の「里地・里山500選」にも選ばれている大阪のオアシス的存在になっています。

この地に大型スポーツ施設が計画されていた2008年に私たちは、この里山的自然環境を後世に残すために信太の森FANクラブを結成して「里山自然公園を」と運動を進めてきました。

その結果2011年に請願が採択され、信太の森FANクラブは2012年にNPO法人となり、2015年から公民協働による「公園協議会」に参加して自然公園の保全活動が続けてきました。

請願が採択されてから13年が経過した2024年8月「信太山丘陵里山自然公園」として西エリアが正式にオープンしました。残りの約5分の4も含めて保全活動と整備が進められています。

FANクラブは、その一方で「里山自然公園」に近接し、大阪みどりのトラスト協会が管理する大阪府最大の湿地「惣ヶ池湿地」についても2014年から私たちが中心となり保全活動を行っており、毎月観察会を実施しています。

※信太山丘陵は、大阪府レッドリスト2014年度版では、生物多様性ホットスポットのAランクに指定されています。

〒594-0013
和泉市鶴山台3丁目4-1-202
NPO法人 信太の森FANクラブ事務局
TEL 090-1225-9159
mail tamahati@amber.plala.or.jp
URL <https://shinodanomori-fan.com>

信太の森2016 検索



信太山丘陵の 里山公園づくり

信太山丘陵は、「山川、草木、海など、人類がそこで生まれ生活してきた場」として長く自然が保たれてきました。



草原を利用した綿布の晒干し

昭和30～40年代まで、牛馬の飼料、田畑の肥料、薪炭や柴の供給源として里の暮らしと密接な関係にありましたが、農業の改革や石油燃料の出現とともに茅や木々が使われなくなり、草原や林が放置されると共に雑草木が繁殖する状態になっています。



雑草木が繁る草原

今、人が手を加えることで管理、維持されてきた里山里山の生物多様性豊かな自然を、次の世代に残すことが大きな課題となっており、私たちもさまざまな活動を行っています。



カマを使って草刈り

里山保全活動に

あなたも参加しませんか

☆信太山丘陵里山自然公園保全活動

第1日曜日 10:00～12:00

第3火曜日 10:00～12:00

集合 10:00 公園管理棟前

☆惣ヶ池湿地保全活動

第2日曜日 10:00～14:30 (雨天時第2水曜)

第4金曜日 10:00～12:00

集合 9:50 公園管理棟前

又は、10:00惣ヶ池湿地

※活動日が変更される場合がありますのでご参加の方は、ホームページをご確認ください。
お車の方は、公園管理棟駐車場をご利用ください



新しい発見が
いっぱい!



観察会に参加しませんか
 毎月第4日曜日に開催しています
 集合 10:00 公園管理棟前
 解散 12:30頃 参加費 300円



クラブでは、観察に便利は「信太山丘陵散策図鑑」を発刊しました。詳しくは、公園管理棟にてお問い合わせ下さい。